

トピックス編

1 表彰

(1) 知事表彰

【永年勤続表彰】

- ・30年表彰 ①多田 実 ②清水 正樹 ③大橋 博文 ④白子 淑江
⑤岡田 洋一 ⑥藤田 茂 ⑦市川 圭子 ⑧小久保 知寿子
⑨井出 薫 ⑩橋本 淳子
- ・20年表彰 ①黒田 舞 ②石井 香織 ③三浦 明子 ④黒崎 恵
⑤松永 幸子 ⑥中川 由紀乃

(2) 院内表彰

- ・チーム表彰 ①コロナワクチン接種チーム ②泌尿器科
③埼玉県立小児医療センターてんかん教室運営チーム

2 ボランティア活動

(1) 病院承認ボランティア

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
病院ボランティアの会	2017年	患者・家族の案内、園芸、裁縫、等	月～金曜日：外来、病棟等

※カリヨン文庫、EE-Heart、ホスピタル・クラウン、セラピードッグは、新型コロナウイルス感染予防対策により活動休止。

(2) 外部団体によるイベント

ボランティア名	活動日	活動内容
絵本カーニバル	令和3年11月26日(金) ～12月3日(金)	外来プレイルームに、絵本を展示し自由に閲覧してもらった。
青い目のサンタクロース 病院訪問	令和3年12月21日(火)	「難病のこども支援全国ネットワーク」によるクリスマスイベント。

※いずれも新型コロナウイルス感染予防対策を十分に講じたうえで開催。

3 院内保育

(1) 一時保育室

一時保育室（前「兄弟保育室」旧病院では「こども広場」）は、令和3年度で21年目を迎え、ホームページ、病院案内、利用者からの紹介などで、入院患児の御家族への認知度が高まっている。

利用対象者は、当センターに入院又は通院している患児者の兄弟姉妹であり、原則として自立歩行が可能な未就学児である。

対象外保育として、自立歩行ができないお子さんや小学生も受け入れ可能な範囲でできるだけ前向きに保育を行っている。

平成30年10月より、外来患者の兄弟姉妹を対象とした保育も行っている。

令和3年度から、運営方法を病院直営から民間業者への委託に変更し、安定的に受け入れできるようになったこと及び新型コロナウイルスの感染状況の拡大に伴う院内への立入制限により外来関連の受け入れが拡大したことにより保育実績が大幅に増加した。

毎日の保育では、日々違うお子さんやキャンセルが入ることもあり、当日にならないと利用者、人数が確定せず、一貫した保育は難しい状況にある。

節分やおひなさま、七夕やクリスマスなど季節の行事には、部屋の飾りつけやお子さんが行う製作をして楽しんでいる。

利用者の推移

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人 数	915人	713人	690人	507人	1,399人

令和3年度利用者の月齢構成

年 齢	人 数	構 成 率
2歳6ヶ月未満 (対象外)	98人	7%
2歳6ヶ月～2歳11ヶ月	184	13
3歳	120	8
4歳	39	3
5歳	43	3
6歳	25	2
就学児 (対象外)	11	1
外 来	879	63
計	1,399	100

(2) かりよん保育園

当センターの医師や看護師等の定着と確保を図るため、旧病院長公舎を改築し、病院職員の乳幼児を預かる院内保育施設を、平成21年4月1日に開設した。また、移転に伴い、平成29年1月には、新病院内に隣接するさいたま赤十字病院と共用する保育施設をオープンした。保育対象の子供は産後休暇・育児休業取得後の0歳児から小学校就学前まで、保育時間は午前8時から午後6時（前後に各1時間の延長あり）まで、定員は50名（各病院25名）、保育園の運営は民間業者に委託で行った。

令和2年度は、1年間で医師6名、看護師13名、コメディカル1名の計20名が、令和3年度は、1年間で医師11名、看護師13名、コメディカル0名の計24名が利用した。

また、夜間保育については昨年度に引き続き週3回（月、水、金）行っている。

埼玉県立小児医療センター 歌

さんぼく たけし 作詞
 巖 のぼる 作曲
 川越 徳子 編曲

The image shows a musical score for a song. It consists of seven systems of music, each with a vocal line (treble clef) and a piano accompaniment (treble and bass clefs). The lyrics are written below the vocal line. The score includes various musical notations such as notes, rests, and dynamic markings like 'mf' and 'V'.

埼玉県立小児医療センター 歌

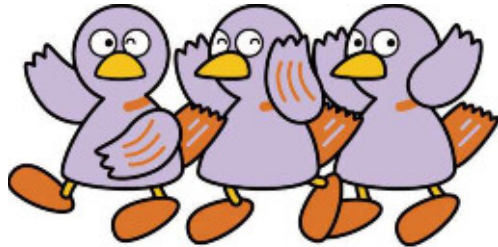
さんぼくたけし

若草萌える 武蔵野に
 病める幼き 子どもらへ
 愛の医療を 捧げんと
 集り参じて 灯をともし
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

真白の富士を 仰ぎ見る
 幼き生命を 救わんと
 燃える希望と 情熱で
 明日の医療を いま築かん
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

(平成2年4月 職員有志により作詞、作曲された)

彩の国
さいたま



埼玉県のマスコット **コバトン**